

宗谷管内

# みなみはま し しかぐら 南浜獅子神楽

昭和 54 年（1979 年）10 月 26 日 町指定無形民俗文化財

民俗芸能団体：南浜獅子神楽保存会（利尻富士町）

## 解説



「北見神社宵宮祭にて」

明治 25 年（1892 年）、利尻富士町南浜に神社が建てられ、富山県から出稼ぎに来ていた漁夫が舞った神楽を神社に奉納したのが始まりとされる。<sup>むか</sup>百足獅子という種類で富山県射水市由来のものと考えられている。大正末（1920 年代）に加藤

兵太郎らが神楽を習い、現在も町内の有志で舞い続けられている。

舞は 10 種類で、笛と太鼓の 4 種類の曲にあわせて天狗と獅子が戦う勇壮な踊りである。初期の獅子頭は木製で手作りされたもので、現在、大人が使っている頭は 3 代目、重さは 6 kg ある。まねこきとよばれる小天狗は、今ではタラの面をつけ天狗の動きを真似る。

例年、北見神社例大祭の宵宮祭<sup>よみやさい</sup>にあたる 6 月 27 日に奉納の舞をしているほか、北海島まつり（7 月最終日曜日）が行われる鬼脇港で演じている。